



11月8日(日)開催

令和8年度 津市総合防災訓練

～防災力の高みを目指して～



令和8年10月23日

令和8年度津市総合防災訓練日時・会場

訓練日時

令和8年11月8日  8時～11時30分

※小雨決行、警報発表時は中止

第1部 8時～9時 美里地域住民等の避難訓練

第2部 9時～11時 各種実働訓練、展示体験訓練

閉会式 11時～

訓練会場

美里グラウンド、みさとの丘学園 ほか



避難所環境等の質の向上に向けた取組

課題 過去の災害においては、避難所における運営上の混乱や生活用品等の不足などが生じており、津市においても避難所環境の質の向上が課題

令和8年度の取組

- **避難生活の質の向上を目的に必要な備蓄品を追加整備(4月～)**
過去最大クラスの想定避難者数を対象に、発災初期段階から必要となる備蓄品(折り畳みベッドやワンタッチパーティションなど)を必要数 購入
- **津市災害対策図上訓練において避難所運営を想定した訓練を実施(5月)**
発災36時間後の想定で、人命救助に係る調整と並行して**避難所及び避難住民等からのニーズに的確に対応する活動を焦点**に、防災関係機関との連携強化及び各種計画の実効性を検証するための訓練を実施

令和8年度津市総合防災訓練においても避難所運営訓練を実施

訓練のポイント

第1部

- ◆ 指定避難所への住民避難に係る実践的な訓練を通して、地域住民の安全で具体的な避難行動要領の確認から避難所での受付を実施

第2部

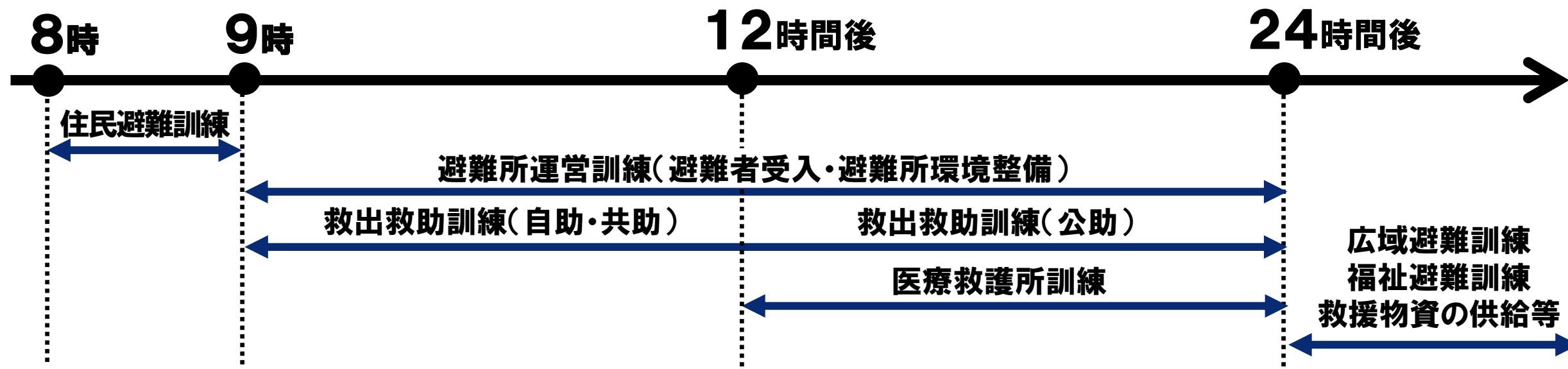
- ◆ 地域住民が主体となり発災後間もない混乱状態の中、殺到する様々な避難者の受入れ、避難所のレイアウト作成要領の実践 **避難所運営**
- ◆ 時間経過により刻々と変化する状況を想定し、市及び防災関係機関と連携した**避難所運営体制強化** **避難所運営**
- ◆ 地域の将来を担う、みさとの丘学園の全児童生徒が訓練に参加し、地域住民の一員として避難所運営等を体験することで、**防災を担う人材育成**を促進 **避難所運営**
- ◆ 地域住民の共助、市及び防災関係機関の医療機関等による福祉医療提供及び救援物資関係機関等との連携による命をつなぐリレーの実践による、**相互の連携意識の醸成**
- ◆ 美里地区の地域的特性、想定される被害状況を踏まえ、孤立集落、土砂災害等への情報収集、啓開、搜索救助を実践

訓練想定

- 令和8年11月8日(日)午前8時に地震が発生
- 三重県南東沖を震源とする**マグニチュード9.0の巨大地震(市内最大震度7)**
- 地震に伴う揺れ及び大津波の襲来により、建物の倒壊、火災の発生、道路・橋梁の損壊、ライフラインの寸断など甚大な被害が生じ、**人的被害**も多数発生
- 山間部では**大規模な土砂災害、家屋の倒壊及び孤立集落**が発生し、沿岸部では大規模な避難行動が確認

地震発生！

初の取組として、実働訓練各項目に**発災からの経過時間及び状況付与**を設定することで、より**リアル**な訓練を目指します！！



訓練項目

避難訓練(第1部)

- 地域住民の避難訓練
- 要支援者の避難訓練
- 避難誘導訓練



避難所運営訓練(第2部)

- 避難者受入れ訓練
(地域住民、避難行動要支援者、広域避難者等)
- 避難所生活環境整備訓練
- 炊き出し訓練
- 指定福祉避難所搬送受入訓練
- 災害医療救護訓練
- 救援物資の供給、配送、受入訓練

医療救護所設置運営訓練(第2部)

- 医療救護所設置運営
- 災害時医療救護活動

救出救助訓練(第2部)

- 倒壊家屋救出救助訓練(自助・共助)
- 倒壊家屋救出救助訓練(公助・他機関連携)
- 情報収集訓練
- 道路啓開訓練
- 重傷者空輸訓練(ドクターヘリ)
- 消火訓練

展示体験訓練(第2部)

- 初期消火・煙体験
- 資機材取扱訓練
- 災害対策車両・電気自動車展示
- 防災パネル、防災用品等の展示



第1部 訓練内容

1 地域住民等の避難訓練

指定避難所への避難

- ・美里地域内各地区から指定避難所であるみさとの丘学園までの、避難要領等の確認 発災直後～
- ・要配慮者の避難要領等の確認 発災直後～
- ・適切な避難所運営に資する受付要領の確認 発災直後～

関係機関が連携した避難者誘導

- ・殺到する避難者の安全確保を目指した避難誘導の実施 発災直後～
- ・消防団及び警察による適切な避難誘導要領の確認 発災直後～

第2部 訓練内容①

1 避難所運営、避難所環境整備の検証及び人材育成

避難所運営マニュアルに基づく避難所運営

美里地域初の取組

- ・ 殺到し混乱する避難者の受け入れ 発災直後～
- ・ 要配慮者への対応、整備した備蓄品を活用した避難所レイアウト作成 発災直後～
- ・ 避難所運営マニュアルの検証

様々な避難者の受入れ体制構築

- ・ 要配慮者、ペット同行避難者等の、受付から適した避難スペースへの誘導 発災直後～
- ・ 要配慮者の生活環境整備及び関係機関と連携した支援の実施 発災24時間後～

みさとの丘学園児童生徒の訓練参加

- ・ 地域住民の一員として全児童生徒が避難所運営訓練等に参加
- ・ 事前学習会や当日の体験各種啓発展示及び体験訓練を通し、将来の防災リーダー育成

第2部 訓練内容②

2 関係機関連携による命をつなぐリレー

広域避難及び福祉避難の検証 **初の取組**

- ・津市広域避難計画に基づく、広域避難者の移送、引継ぎ訓練 **発災24時間後～**
- ・要配慮者に対する指定福祉避難所への移送・引継ぎ訓練を実施 **発災24時間後～**

各機関連携による避難所への物資支援及び情報収集

- ・災害協定に基づき、関係団体と連携し、ドローン等を活用しながら発災後の被害状況や孤立化した集落などの情報収集・伝達の実施 **発災12時間後～**
- ・協定業者による提供物資を市物資拠点から避難所環境までの輸送 **発災24時間後～**

倒壊建物からの救助

- ・自衛隊、消防、DMATが連携し、人員及び保有資機材を最大限活用した要救助者の捜索、救助、現場医療活動を実施し、重傷者をドクターヘリにて搬送 **発災12時間後～**

令和8年度津市総合防災訓練参加機関

参加予定機関・人数

47機関 ・ 約700人

(内訳) 国・県・市関係 8機関 医療関係 6機関
市関係 3機関 民間企業 11機関
その他機関 19機関
※うち災害応援協定締結団体 28機関

令和7年度の参加機関・人数

52機関 ・ 約400人

令和6年度の参加機関・人数

51機関 ・ 約550人



令和8年度津市総合防災訓練参加機関一覧

区分	機関・企業名(敬称略、順不同)
国・県・市関係機関(8)	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所、津地方気象台、陸上自衛隊第三十三普通科連隊、航空自衛隊第一警戒隊、航空自衛隊第十四高射隊、三重県津警察署、三重県津南警察署、草津市
災害協定締結機関(28)	公益社団法人津地区医師会、公益社団法人久居一志地区医師会、公益社団法人津歯科医師会、一般社団法人津薬剤師会、国立大学法人三重大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター、災害ボランティアアマチュア無線津、社会福祉法人津市社会福祉協議会、社会福祉法人弘仁会特別養護老人ホーム美里ヒルズ、一般社団法人三重県建設業協会津支部、津造園建設業組合、三重県行政書士会、公益社団法人日本非常食推進機構、公益社団法人三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、一般社団法人三重県建築士会津支部、一般社団法人三重県ドローン協会、赤帽三重県軽自動車運送協同組合、株式会社日硝ハイウエー、ヤマト運輸株式会社三重主管支店、一般社団法人三重県トラック協会津支部、株式会社カインズ久居店、生活協同組合コープみえ津南センター、株式会社山口商会、三重日産自動車株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ東海支社三重支店、一般社団法人三重県津LPガス協議会
その他関係機関(8)	津市自治会連合会美里支部、津市立みさとの丘学園、津市自主防災協議会、津市自主防災協議会美里支部、美里地区ボランティア連絡会、みえ防災コーディネータ津ブロック、津市身障者福祉連合会、三重県自閉症協会
市機関(3)	津市消防団(学生機能別団員含む)、津市消防本部、津市(各部局)

問い合わせ

**事前申し込み不要の防災啓発コーナー等もあります。
どなたでもご参加いただけますので、是非お越しください。**

※お車でお越しになる場合は、乗り合わせでのご来場に、ご協力をお願いします。

危機管理部防災室

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

TEL 059-229-3104

FAX 059-223-6247

E-mail 229-3104@city.tsu.lg.jp

